

第7回 「産業廃棄物処理高度化推進懇話会」 議事概要

1 日 時 令和2年8月6日（木） 15:00 ～ 16:30

2 場 所 パークサイドビル 9階 中会議室

3 出席者（敬省略）

<委員>50音順

泉優佳理委員（科学技術コミュニケーション研究所 代表）

遠藤岳二委員（日本製鉄株式会社九州製鉄所八幡地区 安全環境防災部環境防災室 室長）

籠田淳子委員（有限会社ゼムケンサービス 代表取締役）

細川文枝委員（光進工業株式会社 監査役）

松永裕己委員（北九州市立大学大学院 マネジメント研究科 教授）

三橋雅之委員（公益社団法人福岡県産業資源循環協会 北九州支部長）

<事務局>

北九州市環境局産業廃棄物対策課

公益社団法人福岡県産業資源循環協会 北九州支部

4 議 題

- （1）『北九州ゆめみらいワーク2020』への出展について
- （2）産廃処理業PRリーフレットの作成について
- （3）産廃許可事業者アンケートについて

5 議事概要

（1）『北九州ゆめみらいワーク2020』への出展について【資料1】

- ・ノベルティをエコバックにするなら、継続して使用してもらえるバックを作成して欲しい。
- ・会場ではリーフレットをたくさん貰うため、エコバックが良いと思う。トイレットペーパー（エコッパー）は大人は嬉しいが、高校生等が欲しいとは思わないため、コンビニに持っていけるエコバックや文房具などが良いのではないかな。
- ・文房具は小さく来場者に目立たないという欠点があるが、再検討したい。【事務局】
- ・高校生目線で考える事はすごく大事であり、考慮してもらいたい。
- ・出展が初めてで、ブースでの体験も（コロナの影響で）思うようにできない状況なため、パネル構成で高校生等の興味をどのように引くかが重要になる。当

社も若い社員が積極的に話しかけて呼び込みし、説明を行っているが、高校生が話しやすい若い人や女性もいた方が良いと感じる。

- ・ブース対応者として出展内容を全て説明できる人を選びがちだが、高校生に喋らせることができる人、会話を引き出す対応ができる人を当日の対応者として選定して頂きたい。
- ・学生は学ぶ事に関して意識が高いと思う。例えば、廃棄物がエネルギーに変わる事が分かるようなプレゼンを5分、10分の内容で紹介すると良いと思う。
- ・教員・保護者も来場するので、北九州市の技術が抜きん出ていることが分かるようにすると、就職につながるのではないかと思います。
- ・我々も高校生の就職には先生が要になると考えている。生徒だけではなく教員にどう働きかけられるかも念頭に置いて検討する。【事務局】
- ・汚水浄化実験は、福岡県産業資源循環協会として中学校で出前授業をした経験がある。北九州支部の中にも経験者がいると思うので、担当者として参加させたい。
- ・20歳未満の来場者を集めるにはパフォーマンスが重要だと思う。
- ・高校生目線で柔らかい空気をつくり、話しやすい雰囲気作りをするのは重要だと思う。
- ・高校生はクイズが好きなので、クイズをしながら産廃業について知って貰うのはどうか。正解数に合わせてプレゼントを準備してはいかがか。
- ・参加型にすることや成果がわかるということは良いと思う。

(2) 産廃処理業PRリーフレットの作成について【資料2】

- ・基本的には産業廃棄物処理業の認知を高め、イメージアップと人材確保のためのリーフレットであるということによいか。
- ・そのとおり【事務局】
- ・素案の5頁だが、産廃処理業がイラストで紹介されていてわかりやすい。
- ・企業が求める人材と求職者という2つの視点があるが、最近の大学生はソリューションやコンサルという言葉に魅力を感じる傾向がある。産廃業にも処理方法の検討や受け入れ相談といったクリエイティブな仕事もある事をPRすると良いのではないか。
- ・3頁のクイズの文言は何か自分で書くのか？
- ・文言はこれから事務局で考える。一般の人向けに、身近なモノで埋めたいと考えている。【事務局】
- ・2頁のイラストが3頁に繋がるのは良いと思った。4頁も3頁のイラストを使用すればさらに一体感がでると思う。
- ・5頁目に取得できる資格を明記してはどうか。また、市内に363業者（多くの事業者）があることをもう少し大きく示してはどうか。
- ・資格が取得できるのは魅力的だと思う。ゆめみらいワークでも使えるかもしれ

ない。

- ・業界の紹介ならこれで良いが、雇用創出の目的もあるので、業種を説明するだけではなく、入社までのプロセスをもう少し丁寧に説明した方が、イメージしやすくなるのではないかな。
- ・このパンフレットの位置づけを何処にするかによって見せ方が変わるかもしれない。具体的には入社するイメージにどうつなげるかという話だと思うが、全ての業種は無理だが、少しでも加えた方がイメージしやすいかもしれない。
- ・各社に配布することを想定しているので、（各社での利用時に）それぞれの業種、会社で加えてもらう必要があるかもしれない。【事務局】
- ・各社で業種が違うので、それぞれの魅力や仕事の話になると、パンフレットに全てを盛り込むことはできない。各委員の意見を踏まえて、事務局で取捨選択して欲しい。
- ・北九州にだけあるものや、専門的な技術や技能を要するものなどを分かりやすく表示したら、学生が「学んだことを活かせる」などイメージが湧きやすいのではないかな。
- ・先述の資格と繋がるが、専門性や技術、自分が学んだことを活かせるかというところを、どう見せるかも重要かもしれない。
- ・就職時に産廃業を選ぶ学生は少ないが、環境ビジネスに関心を持っている学生は多い。また、最近は安定性、成長性から環境ビジネスを選ぶ学生も増えている。環境ビジネスの中核は、廃棄物処理業とリサイクル業だということがわかってもらえると業界のイメージが変わるのではないかな。
- ・社会活動を継続していくには必ず産業廃棄物が排出されるため、「リサイクル」はキーワードとなると思う。会社での資金調達も環境のためだと説明するとスムーズに獲得できたりする。見せかけだけではダメだが見せ方の工夫は大事。
- ・産廃業と建設業といった他業界と連携をしながら、資源循環がわかるようなリーフレットになればいいと思う。
- ・家電についてはエコデザインが浸透しているが、建設業に関してはまだ遅れている。これからの産廃業の役割は大きい。

（３）産廃許可事業者アンケートについて【資料３】

- ・事業最終年度のため成果を把握する必要がある。アンケートの素案に加えれば良いものあれば出していただきたい。雇用者数と離職者数が中心になると思う。
- ・建設業の新しい人材の受け入れに関して、大学は即戦力人材を輩出して欲しいという話があった。企業にアンケートを取るのであれば、どのような人材に期待しているのかという項目を入れて欲しい。多様な職種があって、偏差値が高い人が良いというわけではないと思うので、企業側の欲しい人材がどういう人なのか、どういう人材が不足しているのかをアンケートで情報収集できたら良いのではないかな。

- ・能力というと資格などのイメージが湧く。資格などは入社後に取得してくれれば良い。簡潔に言えばやる気ではないか。体力と気力が一番重要だと考える。
- ・学力ではなく主体性とか自主性など、社会人基礎力が必要ということ。アンケートに盛り込むかは検討していただきたいが、文科省が出している社会人基礎力を参考に、各企業にとってどういう能力や人材が必要なのかという事をこの機会に聞いていただけたらと思う。
- ・離職までの在職期間も入れたらどうか。
- ・KPIに投資額があるが、これは聞かなくていいか。
- ・この事業に課せられているものは、主に雇用創出者数なので不要。【事務局】
- ・事務局素案ができた段階で、具体的なお意見を頂きたい。【事務局】

(4) その他

- ・前回までの懇話会でご議論頂いた産業廃棄物排出業者・処理業者認定制度について、令和元年度の認定業者を選定した。更新業者3社、新規業者2社、計5社が内定している。
- ・次回の会合は、3年間の事業総括を含めて、年度末の開催を予定している。